



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東
 コード番号 3405 URL <https://www.kuraray.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川原 仁
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画室（氏名） 滝沢 慎一（TEL）03-6701-1070
 I R・広報部長
 半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 2024年9月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	411,217	7.9	45,464	11.0	44,022	14.2	30,446	39.4
2023年12月期中間期	380,998	6.4	40,970	7.6	38,538	1.7	21,842	△9.8

（注）包括利益 2024年12月期中間期 103,896百万円（41.6%） 2023年12月期中間期 73,371百万円（△23.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	91.20	91.14
2023年12月期中間期	65.26	65.21

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	1,327,219	819,436	60.4
2023年12月期	1,254,485	736,156	56.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 801,383百万円 2023年12月期 714,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年12月期	—	27.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	27.00	54.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850,000	8.8	89,000	17.9	84,000	21.7	55,000	29.6	166.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) Chemviron Parentis SAS、Foggia Perlite S.r.l.
除外 2社 (社名) 株式会社岡山臨港、岡山臨港倉庫運輸株式会社

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	354,863,603株	2023年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	24,365,792株	2023年12月期	20,107,257株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	333,850,601株	2023年12月期中間期	334,725,385株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 5 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	6
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 中間連結貸借対照表	7
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)における世界経済は、欧州と中国の景気低迷が継続したものの、米国は堅調に推移し、全体としては緩やかな成長となりました。一方で、ロシア・ウクライナや中東情勢など地政学的な緊張がグローバルな経済活動のリスク要因になるなど、先行き不透明な状況が続きました。

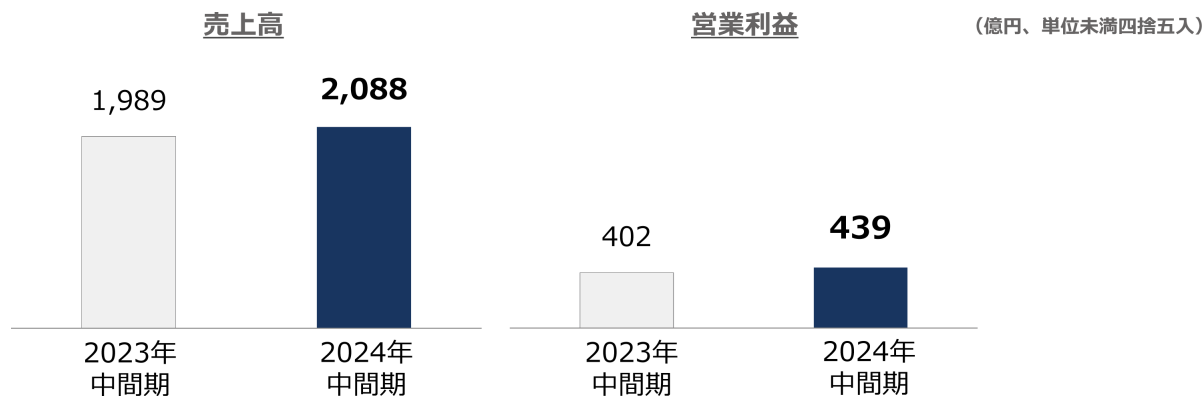
かかる環境下、多くの事業において販売数量が伸長したことや円安の影響もあり、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比30,219百万円(7.9%)増の411,217百万円、営業利益は4,493百万円(11.0%)増の45,464百万円、経常利益は5,483百万円(14.2%)増の44,022百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は8,603百万円(39.4%)増の30,446百万円と、中間期として売上高、各利益いずれも過去最高を更新しました。

(単位:百万円)

	2023年度 中間連結 会計期間		2024年度 中間連結 会計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	198,919	40,247	208,840	43,905	9,920	3,658
イソプレン	31,795	△2,703	37,538	△4,025	5,743	△1,321
機能材料	93,371	5,749	102,764	6,466	9,392	717
繊維	30,163	665	31,233	721	1,070	56
トレーディング	28,970	2,302	32,233	2,737	3,263	435
その他	22,864	575	24,998	905	2,133	329
消去又は全社	△25,087	△5,865	△26,390	△5,246	△1,303	619
合計	380,998	40,970	411,217	45,464	30,219	4,493

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は208,840百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は43,905百万円(同9.1%増)となりました。



ポパール樹脂：欧州向け物流が混乱する中、グローバルな安定供給体制を背景に、販売数量が増加しました。

光学用ポパールフィルム：流通在庫調整の影響が解消し、販売数量が増加しました。なお、テレビ用パネル大型化の需要に応えるため、第2四半期に倉敷事業所で新設備の稼働を開始しました。

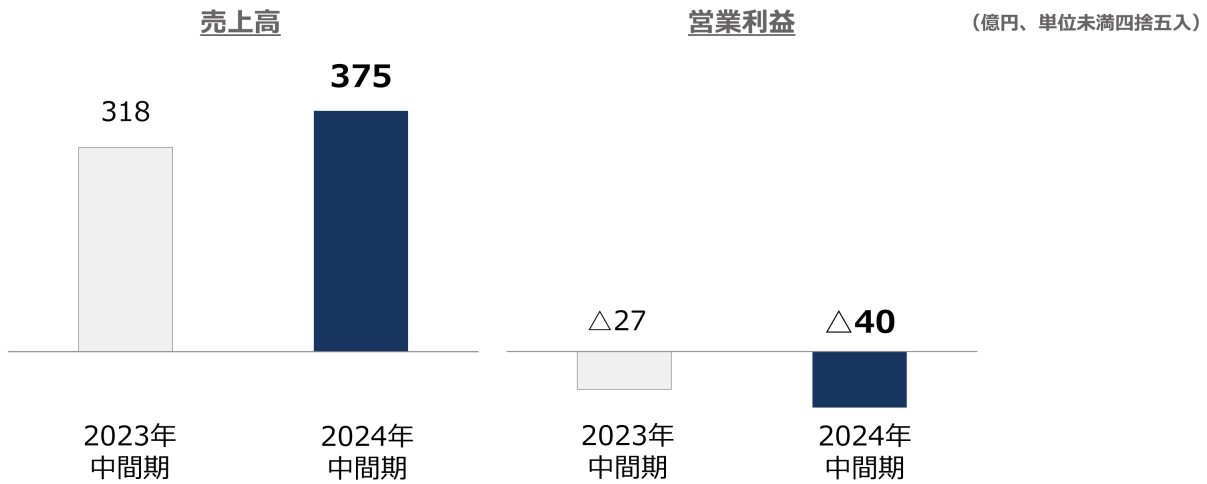
高機能中間膜：欧州の建築用途で景気低迷の影響が継続し、販売数量が減少しました。

水溶性ポパールフィルム：欧州で長らく景気低迷の影響を受けているものの、流通在庫の調整が進み、販売数量は増加しました。

EVOH樹脂(エパール)：自動車用途は堅調に推移しました。食品包装用途は昨年後半から続く需要の落ち込みの影響を受け、販売数量は減少したものの、第2四半期に入り各地域で回復基調となりました。サーキュラーエコノミー関連を中心とした今後の需要拡大に対応するため、シンガポールでの新プラントの建設(2026年末稼働予定、2024年3月26日公表)を決定しました。

[イソプレン]

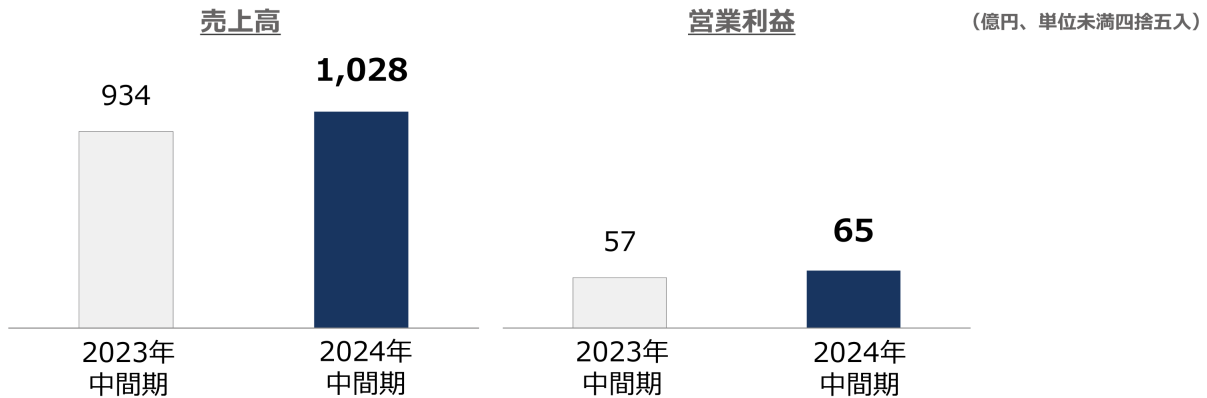
当セグメントの売上高は37,538百万円(前年同期比18.1%増)、営業損失は4,025百万円(前年同期は営業損失2,703百万円)となりました。



イソプレンケミカル・エラストマー：自動車用途などを中心に需要が回復し、販売数量が増加しました。
耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉：堅調な自動車用途に加え、電気・電子用途でも需要が回復し、販売数量が増加しました。

[機能材料]

当セグメントの売上高は102,764百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は6,466百万円(同12.5%増)となりました。



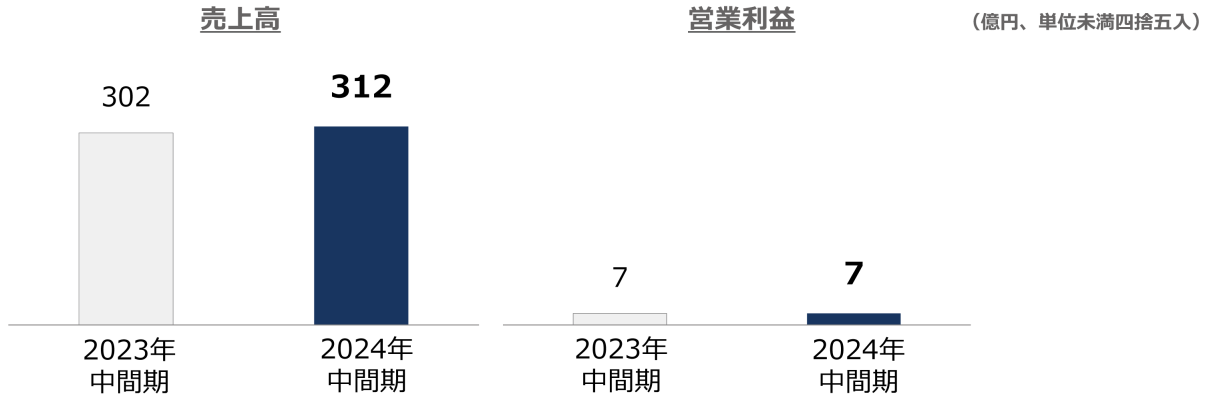
メタアクリル：電気・電子用途を中心に需要の回復が見られ、販売数量が増加しました。なお、メタクリル酸メチルの生産能力を最適化することを決定し(2024年6月27日公表)、収益改善の道筋をつけました。

メディカル：審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に引き続き好調に推移しました。

環境ソリューション：欧州の産業用途では景気低迷による影響が見られたものの、北米の飲料水用途を中心に、活性炭の販売が堅調に推移しました。米国の活性炭新設備は第1四半期に稼働を開始しました。

[繊維]

当セグメントの売上高は31,233百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は721百万円(同8.4%増)となりました。



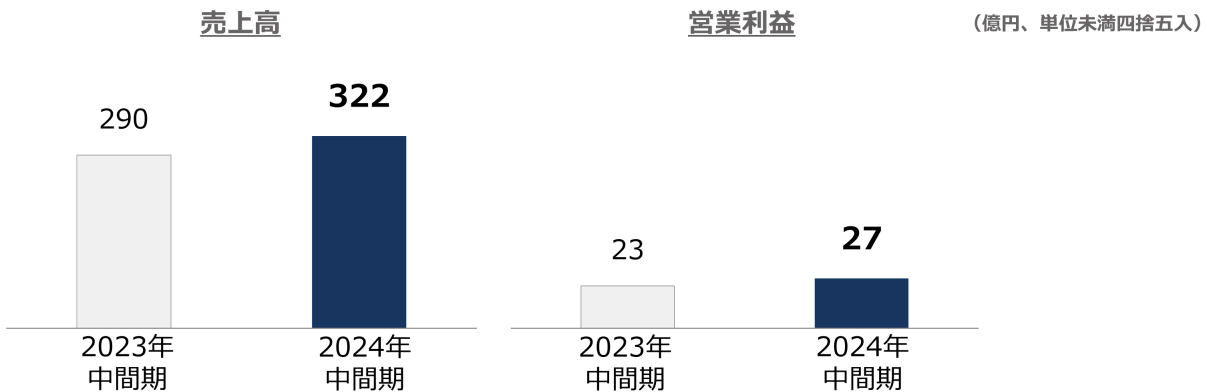
人工皮革〈クラリーノ〉：自動車用途やスポーツ用途で需要の回復が進み、販売数量が増加しました。

繊維資材：自動車用途などで需要の回復が見られたものの、欧州の建材用途などが低調でした。

生活資材：〈クラフレックス〉〈マジックテープ〉ともに需要が低調でした。なお、不織布事業において、乾式不織布の事業撤退、及びメルトブローン不織布の生産能力縮小を決定しました(2024年7月26日公表)。

[トレーディング]

当セグメントの売上高は32,233百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は2,737百万円(同18.9%増)となりました。

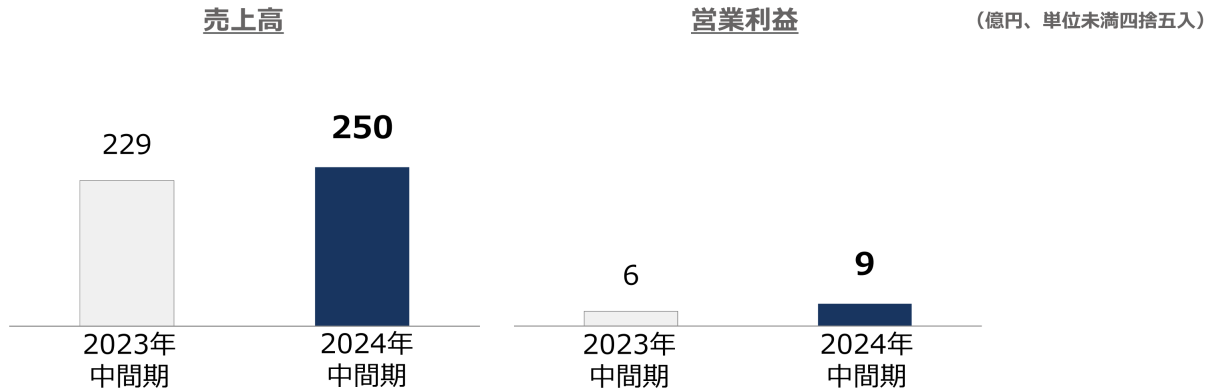


繊維関連事業：資材関連は苦戦しましたが、スポーツ衣料用途が順調に推移しました。

樹脂・化成品関連事業：アジア市場を中心に販売が拡大しました。

[その他]

その他事業の売上高は24,998百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は905百万円(同57.3%増)となりました。



(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少6,970百万円等の一方、棚卸資産の増加27,527百万円、有形固定資産の増加24,127百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産の増加17,073百万円等により、前連結会計年度末比72,733百万円増の1,327,219百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加9,272百万円等の一方、有利子負債の減少26,076百万円等により、前連結会計年度末比10,546百万円減の507,782百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定や利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比83,280百万円増の819,436百万円となりました。自己資本は801,383百万円となり、自己資本比率は60.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降の世界経済は、各地における地政学リスク、中国の景気低迷など不透明な状況が続くものの、インフレ圧力の緩和により欧米を中心に金融政策の見直しが図られ、緩やかな景気回復の継続を見込みます。当中間連結会計期間の業績、足元の事業動向、及び上記の経済環境を踏まえ、2024年5月14日に公表した2024年12月期通期(2024年1月1日～2024年12月31日)の業績予想を次のとおり修正いたします。

2024年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 840,000	百万円 85,000	百万円 79,000	百万円 49,000	円 銭 146.35
今回修正予想(B)	850,000	89,000	84,000	55,000	166.42
増減額(B-A)	10,000	4,000	5,000	6,000	
増減率(%)	1.2	4.7	6.3	12.2	
(参考)前年実績 (2023年12月期)	780,938	75,475	69,025	42,446	126.80

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、現中期経営計画「PASSION 2026」における株主還元方針として「総還元性向35%以上、1株当たり年間配当金40円以上」を掲げ、収益拡大による株主還元の充実を図っています。また、資本効率向上に向けて、事業ポートフォリオの高度化を始めとした各施策を推進しています。

2024年度の年間配当金額につきましては、上記株主還元方針と足元の業績動向を踏まえ、中間配当及び期末配当予想をそれぞれ1株当たり2円増額し、27円とすることを決定しました。これにより、1株当たり年間配当金(予想)は54円となり、前回予想及び前期実績からいずれも4円の増配となる見込みです。

なお、2024年5月14日の取締役会決議に基づき、取得株式数15,000千株、総額20,000百万円を上限とした自己株式の取得を進めており、2024年度の総還元性向は68%程度となる見込みです。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131,144	124,173
受取手形、売掛金及び契約資産	161,904	178,978
有価証券	3,478	2,034
商品及び製品	146,924	168,246
仕掛品	17,502	18,402
原材料及び貯蔵品	63,601	68,906
その他	28,040	26,813
貸倒引当金	△869	△1,010
流動資産合計	551,727	586,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	110,214	122,315
機械装置及び運搬具(純額)	270,408	306,694
土地	22,618	19,682
建設仮勘定	80,344	55,329
その他(純額)	43,390	47,082
有形固定資産合計	526,977	551,104
無形固定資産		
のれん	55,386	57,174
顧客関係資産	29,149	31,187
その他	35,965	38,321
無形固定資産合計	120,501	126,683
投資その他の資産		
投資有価証券	23,966	28,796
長期貸付金	140	140
退職給付に係る資産	3,227	3,358
繰延税金資産	16,530	17,228
その他	11,509	13,456
貸倒引当金	△95	△94
投資その他の資産合計	55,278	62,885
固定資産合計	702,757	740,674
資産合計	1,254,485	1,327,219

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,124	58,396
短期借入金	40,014	33,890
1年内償還予定の社債	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	24,698	17,731
未払費用	16,734	18,941
未払法人税等	11,033	15,880
賞与引当金	10,275	7,936
その他	48,690	43,867
流動負債合計	200,571	206,643
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	157,312	144,326
繰延税金負債	18,754	19,371
退職給付に係る負債	29,487	31,599
資産除去債務	6,338	7,133
その他	45,864	48,707
固定負債合計	317,757	301,139
負債合計	518,329	507,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,146	87,179
利益剰余金	426,290	448,367
自己株式	△25,654	△33,632
株主資本合計	576,737	590,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,856	7,857
繰延ヘッジ損益	△53	△12
為替換算調整勘定	131,269	203,017
退職給付に係る調整累計額	△524	△349
その他の包括利益累計額合計	137,548	210,512
新株予約権	341	270
非支配株主持分	21,529	17,782
純資産合計	736,156	819,436
負債純資産合計	1,254,485	1,327,219

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	380,998	411,217
売上原価	261,167	277,798
売上総利益	119,830	133,419
販売費及び一般管理費		
販売費	20,742	22,670
一般管理費	58,117	65,284
販売費及び一般管理費合計	78,860	87,955
営業利益	40,970	45,464
営業外収益		
受取利息	644	1,828
受取配当金	360	352
持分法による投資利益	96	155
その他	703	1,487
営業外収益合計	1,805	3,823
営業外費用		
支払利息	1,380	1,415
その他	2,857	3,850
営業外費用合計	4,237	5,265
経常利益	38,538	44,022
特別利益		
投資有価証券売却益	676	1,515
特別利益合計	676	1,515
特別損失		
事業整理損	-	3,477
固定資産廃棄損	351	579
訴訟関連損失	7,520	-
特別損失合計	7,872	4,057
税金等調整前中間純利益	31,342	41,480
法人税、住民税及び事業税	10,099	12,774
法人税等調整額	△798	△1,807
法人税等合計	9,301	10,966
中間純利益	22,041	30,514
非支配株主に帰属する中間純利益	198	67
親会社株主に帰属する中間純利益	21,842	30,446

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	22,041	30,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	652	1,000
繰延ヘッジ損益	△351	31
為替換算調整勘定	50,671	71,796
退職給付に係る調整額	194	174
持分法適用会社に対する持分相当額	163	380
その他の包括利益合計	51,330	73,382
中間包括利益	73,371	103,896
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	72,487	103,410
非支配株主に係る中間包括利益	884	486

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	31,342	41,480
減価償却費	36,731	41,824
投資有価証券売却損益(△は益)	△676	△1,515
事業整理損	-	3,477
固定資産廃棄損	351	579
訴訟関連損失	7,520	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,269	△5,448
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,947	△9,382
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,498	6,422
その他	6,600	△11,856
小計	69,693	65,581
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,043	△2,976
その他	△1,033	1,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,616	63,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△30,151	△33,507
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,254	2,104
その他	△1,287	△4,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,184	△35,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,894	△6,231
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△10,000	-
長期借入金の返済による支出	△22,938	△21,603
社債の償還による支出	△10,000	-
自己株式の取得による支出	△1	△8,148
配当金の支払額	△7,697	△8,368
その他	△1,750	△1,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,494	△46,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,790	11,615
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,271	△6,854
現金及び現金同等物の期首残高	127,616	133,663
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△601
現金及び現金同等物の中間期末残高	110,345	126,207

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において自己株式の取得を決議し、取得株式数15,000千株、総額20,000百万円を上限として取得を進めています。この取得等により、当中間連結会計期間において、自己株式が7,977百万円増加し、当中間連結会計期間末において、自己株式が33,632百万円となっています。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I. 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	190,694	25,545	91,422	28,326	28,190	364,179	16,819	380,998	—	380,998
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,225	6,249	1,948	1,836	780	19,041	6,045	25,087	△25,087	—
計	198,919	31,795	93,371	30,163	28,970	383,220	22,864	406,085	△25,087	380,998
セグメント利益 又は損失(△)	40,247	△2,703	5,749	665	2,302	46,260	575	46,836	△5,865	40,970

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,865百万円には、内部取引消去2,002百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△7,868百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニルア セテート	イソ プレン	機能材料	繊維	トレー ディング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	200,429	28,953	100,310	28,900	31,673	390,267	20,950	411,217	—	411,217
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,410	8,584	2,453	2,332	560	22,342	4,047	26,390	△26,390	—
計	208,840	37,538	102,764	31,233	32,233	412,610	24,998	437,608	△26,390	411,217
セグメント利益 又は損失(△)	43,905	△4,025	6,466	721	2,737	49,805	905	50,710	△5,246	45,464

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,246百万円には、内部取引消去2,975百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△8,222百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能材料」セグメントにおいて、減損損失3,249百万円を計上しています。なお、当該減損損失は、当中間連結会計期間において、特別損失の事業整理損に含めて表示しています。